

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
白い花びら	9	登場人物の行動や気持ちを思い浮かべながら読み、物語の続きを予想する。	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p> <p>○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p> <p>○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>○進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。</p>
たからものをしょうかいしよう	6	○中心点をはっきりさせたり、理由を添えたりして自分の宝物を紹介し、友達の意見や感想をもとによりよい発表にする。	<p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。</p>	<p>○粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。</p>
めだか	10	○段落の要点に気をつけて読み、わかったことや大事なことをまとめる。	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。</p> <p>○「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。</p>	<p>○粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、学習課題に沿って分かったことや大事なことをまとめようとしている。</p>

<p>クラスの「生き物ブック」を作ろう</p>	<p>10</p>	<p>○図や資料を使って、生き物の特徴を比べて書く。</p>	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。</p>	<p>○粘り強く文章の構成を考え、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。</p>
<p>のらねこ</p>	<p>9</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。</p>	<p>【態度】進んで登場人物の性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語の感想を書こうとしている。</p>

<p>取材して知らせよう インタビューをしよう 手紙を書いてつたえよう</p>	<p>16</p>	<p>○取材を通してわかったことを、伝えたいことを明確にして報告文にまとめ、感謝やお誘いの手紙を添えて送る。</p>	<p>○丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。〔知識及び技能〕(2)ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 ○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</p>	<p>粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考え、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。</p>
<p>わすれられないおくりもの</p>	<p>9</p>	<p>○場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉える。</p>	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p>	<p>○進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、登場人物の言葉を考えようとしている。</p>
<p>絵文字の特長をとらえよう 世界の人につたわるように くらしと絵文字 絵文字で表そう</p>	<p>16</p>	<p>○身のまわりのさまざまな絵文字がどんなことを表しているかなどについて話し合い、絵文字に対する興味や関心を高める。</p>	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。</p>	<p>○進んで集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、グループで話し合おうとしている。</p>

			<p>○主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。</p> <p>○考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>○比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>	<p>○「書くこと」において, 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくったり, 段落相互の関係に注意したりして, 文章の構成を考えている。</p> <p>○「読むこと」において, 目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約している。</p> <p>○「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもっている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において, 目的や進め方を確認し, 司会などの役割を果たしながら話し合い, 互いの意見の共通点や相違点に着目して, 考えをまとめている。</p>	<p>○積極的に, 文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち, 学習の見通しをもって, 身のまわりの絵文字について説明する文章を書こうとしている。</p> <p>○積極的に目的や進め方を確認し, 司会などの役割を果たし, 学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。</p>
モチモチの木	8	<p>○会話や行動に注意して, 豆太やじさまの気持ちの変化を想像し, 物語のおもしろいところを紹介する。</p>	<p>○様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにしている。</p> <p>○幅広く読書に親しみ, 読書が, 必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○書くこと」において, 相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「読むこと」において, 登場人物の気持ちの変化や性格, 情景について, 場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p> <p>○「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもっている。</p>	

<p>町の行事について発表しよう</p>	<p>7</p>	<p>○町の行事について調べ、図や写真、表など、資料を選んで発表する</p>	<p>○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。</p>	<p>○進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、学習の見通しをもって、資料を使って発表しようとしている。</p>
<p>川をさかのぼる知恵</p>	<p>7</p>	<p>○段落のつながりに気をつけながら写真と文章を結びつけて読み、考えたことをまとめる。</p>	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>【態度】進んで、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって友達と感想を交流しようとしている。</p>
<p>強く心にのこっていることを</p>	<p>8</p>	<p>○身近な生活の中から自分に合った題材を見つけ、段落相互の関係を考えながら、中心になる場面をはっきりさせて文章を書く。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>○粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして文や文章を整え、学習の見通しをもって、思い出に残っているできごとについて文章を書く。</p>

<p>おにたのぼうし</p>	<p>10</p>	<p>○登場人物の心の動きを想像しながら、消えていったおにたに手紙を書く。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>【態度】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。</p>
----------------	-----------	---	---	--	---